

# 母性看護学・助産学分野年報 No. 3

Activity Report on Department of Midwifery and Women's Health

平成 16 年度

2004.4-2005.3

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻  
母性看護学・助産学分野

Department of Midwifery and Women's Health,  
Division of Health Sciences & Nursing,  
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

# 目 次

1. はじめに	1
2. 研究業績	1
(1) 原著・報告	
(2) 総説・解説など	
(3) 著書・報告書	
(4) 学会発表	
(5) シンポジウム等	
3. 研究活動	3
(1) 抄読会	
(2) 母性看護学・助産学研究報告会	
(3) 研究会	
■ シフラの会	
■ 妊婦の栄養・ストレス研究報告会	
(4) 研究プロジェクト	
(5) 研究交流促進	
4. 教育活動	8
(1) 学部講義	
(2) 学部実習	
(3) 大学院特論	
(4) 修士論文	
5. 学内外での活動	11
(1) 学内の活動・役割	
(2) 学外での活動	
6. 教室日誌	12
7. 教室員名簿	13

## 1. はじめに

母性看護学・助産学分野は、平成14年6月に設置され、3年目を迎えようとしております。年報もおかげ様で3号目を発刊することができました。

平成15年10月1日付けをもって、文部科学省より、助産師学校としての指定の通知を受け、助産学教育課程の準備は平成16年度までで整え、17年度よりいよいよ開講されます。

平成16年度の構成員は、教授（兼担）1名、講師2名、助手1名、大学院生2名、研究生1名、非常勤講師6名、事務員1名でした。16年度は初めての修士課程修了生（松崎政代さん）を出し、引き続き博士課程へ進んでおります。

今後とも、本教室へのご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

## 2. 研究業績(2004.4.～2005.3)

### (1) 原著・報告

Satoko NAGATA, Mari TABATA, Hiroko OOSHIMA, Sachiyo MURASHIMA, Naomi SUMI and Megumi HARUNA.

Current status of discharge planning activities and systems: National survey of discharge planning in Japan.

Japan Journal of Nursing Science, 1:87-97, 2004.

永田智子, 大島浩子, 田畑まりえ, 村嶋幸代, 鷺見尚己, 春名めぐみ.

退院支援の現状に関する全国調査

一病院における退院支援の実施体制に焦点を当てて一

病院管理, 41 (4) : 73-82, 2004.

### (2) 総説・解説など

春名めぐみ, 余 善愛.

ミシガンにおける日本人女性とその家族の健康を支える看護の役割

助産雑誌, 58 (9) : 60-64, 2004.

福岡秀興, 向井伸治, 春名めぐみ.

授乳期の特殊な骨Ca代謝を考える

周産期医学, 34 (9) : 1425-1429, 2004.

大田えりか, 春名めぐみ, 村山陵子

【理想の分娩第1期のケア】「ケアの壁」を感じたとき 吉村医院での研修を通して

助産雑誌(1347-8168) 58(9) : 781-786, 2004.

松崎政代, 矢島床子

【理想の分娩第1期のケア】 事例の場面を振り返る 正常出産へ導く助産院でのケア法 遷延分娩に焦点をあてて

助産雑誌(1347-8168)58(9) : 768-773, 2004.

### (3) 著書・報告書

主任研究者 春名めぐみ

就労妊婦の労働負担による身体及び心理的ストレスに関する研究

分担研究者 村山陵子, 渡辺悦子, 福岡秀興, 関根恭一

平成 16・17 年度 科学研究費補助金 報告書

主任研究者 松崎政代

安全な妊娠・出産のための妊婦の生活習慣評価に関する研究

—評価指標としての酸化ストレスマーカーの有用性について—

分担研究者 春名めぐみ, 村山陵子, 本田由佳, 村嶋幸代

平成 16 年度 日本助産学会研究助成金 (委託研究助成) 報告書

主任研究者 佐藤郁夫

望まない妊娠, 人工妊娠中絶を予防するための効果的な避妊教育プログラム開発に関する研究

分担研究者 鈴木幸子

研究協力者 浅井春夫, 湯澤直美, 伊藤悠子, 金子由美子, 渡邊好恵, 村山陵子, 今井充子,  
大川聡子, 松山美紀

出産を可能にする環境整備に関する研究

平成 15, 16 年度 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書

### (4) 学会発表

本田由佳, 深山知子, 春名めぐみ, 福岡秀興

思春期女子における体組成・骨塩量・骨密度に関する研究—運動群と非運動群との相違—

第 18 回女性スポーツ医学研究会, 東京慈恵会医科大学 高木 2 号館地下 1 階南講堂,  
12 月 4 日

矢島床子, 松崎政代, 梅内拓生

国際協力と助産師の役割 助産教育に関する検討

第 19 回日本国際保健医療学会, 東京都 国際協力機構 (JICA) 国際協力総合研修所 2004 年  
10 月 9 日・10 日

矢島床子, 松崎政代, 梅内拓生

Community における保健活動への助産師の役割 諸外国との比較から

第 19 回日本国際保健医療学会, 東京都 国際協力機構 (JICA) 国際協力総合研修所 2004 年  
10 月 9 日・10 日

今井充子, 鈴木幸子, 村山陵子, 伊藤悠子

S 県における 10 代出産女性の支援事例調査

第 45 回日本母性衛生学会学術集会, 東京都 京王プラザホテル, 2004 年 9 月 16 日~17 日

本田由佳, 春名めぐみ, 福岡秀興, 金井万里子

生体インピーダンス法による産褥3ヶ月までの体組成(体脂肪, 除脂肪)の変化について  
第45回日本母性衛生学会学術集会, 東京都 京王プラザホテル, 2004年9月16日~17日

### (5) シンポジウム等

春名めぐみ

一般講演 座長

第45回日本母性衛生学会学術集会, 東京都 京王プラザホテル, 2004年9月16日~17日

## 3. 研究活動

### (1) 抄読会 (毎週火曜日・地域看護学の抄読会へ参加)

平成16年度, 抄読会において紹介された文献および紹介者は以下の通りである。

前期2004.4/20~7/20, 後期9/14~2005.3/8

月 日	担 当	内 容
4月20日	村嶋幸代	平成16年度の開始に当たって —地域看護学教室の目指すものと基本的事項—
4月27日	横山 梓 田口敦子	Improving mental health through parenting programmes: block randomized controlled trial. <i>Arch Dis Child</i> 87: 472-477, 2002. 話題提供: 24時間訪問看護研究
5月11日	吉岡京子 大島浩子	A typology of knowledge for district nursing assessment practice. <i>Journal of Advanced Nursing</i> . 45(4): 401-409, 2004. Screening swallowing function of patients with acute stroke. Part one: identification, implementation and initial evaluation of a screening tool for use by nurse. <i>Journal of Clinical Nursing</i> . 10: 463-473, 2001.
5月18日	小林小百合 渡井いずみ	M2 修士論文研究計画
5月25日	岩瀬裕三子 松崎政代	M2 修士論文研究計画
6月1日	Louice 永田智子	話題提供: The adult Filipino migrants in Japan and the role of social support in promoting Successful aging. Patient characteristics at hospital discharge and a comparison of home care referral decision. <i>JAGS</i> . 50(2): 336-342, 2002.
6月8日	武内奈緒子 横山 梓	An African community-based chronic ambulatory peritoneal dialysis programme. <i>Nephrol Dial Transplant</i> . 16: 2395-2400, 2001. 学会報告予行
6月15日	村嶋幸代 渡辺悦子	話題提供: 訪問看護ステーションにおける効果的・効率的な24時間ケアモデルの開発 Long-term plasma lipid changes associated with a first birth: The coronary artery risk development in young adult study. <i>American Journal of Epidemiology</i> . 159: 1028-1039, 2004.
6月22日	本田亜起子 春名めぐみ	D3 博士論文経過報告 話題提供: 妊婦・褥婦におけるICF(国際生活機能分類)の活用に関する研究

6月29日	小林小百合 渡井いずみ	M2 修士論文経過報告
7月6日	岩瀬裕三子 松崎政代	M2 修士論文経過報告
7月13日	大田えりか 近藤由生子	Diet during pregnancy in relation to maternal weight gain and birth size. <i>European Journal of Clinical Nutrition</i> . 58: 231-37, 2004. 話題提供: 痴呆性高齢者グループホームへの訪問看護の拡大研究事業計画
7月20日	長弘佳恵 村山洋史	Homeless person's decisions to accept or reject public health disease-detection services. <i>Public Health Nursing</i> . 21(2): 162-170, 2004. Working with Toronto neighbourhoods toward developing indicators of community capacity. <i>Health Promotion International</i> . 18(2): 339-350, 2003.
9月14日	村山陵子	Sleep in women across the life cycle from adulthood through menopause. <i>Sleep Medicine Reviews</i> . 7(2): 155-177, 2003.
9月21日	岩瀬裕三子 渡辺悦子	M2 修士論文中間報告 Physical activity and nutrition programs for couples: A randomized controlled trial. <i>Journal of Clinical Epidemiology</i> . 56: 421-432, 2003.
9月28日	渡井いずみ 小林小百合	M2 修士論文中間報告
10月5日	松崎政代 武内奈緒子	M2 修士論文中間報告 Older women with breast cancer: Perceptions of the effectiveness of nurse care managers. <i>Jennings-Sanders and Anderson</i> . 51(3): 108-114. 2003.
10月12日	有本 梓 村山洋史	Multilevel factors influencing maternal during the first three years. <i>Journal of Marriage and Family</i> . 64. 944-956, 2002 Nov. Newwork analysis as a tool for assessing and building community capacity for provision of chronic disease services. <i>Health Promotion Practice</i> . 5(2): 174-181, 2004 Apr.
10月19日	Louice 本田亜起子	Relationship of activity and social support to the functional health of older adults. <i>Journal of Gerontology: SOCIAL SCIENCES</i> . 58: 231-37, 2004. D3 博士論文経過報告
10月26日	大田えりか 福井郁子	Dietary composition of pregnant women is related to size of the body at birth. <i>Journal of Nutrition</i> . 134(7): 1820-6, 2004 Jul. Vigilance: The experience of parents staying at the bedside of hospitalized children. <i>Journal of Pediatric Nursing</i> . 19(4): 267-75, 2004 Aug.
11月2日	長弘佳恵 春名めぐみ	The efficacy of tailored interventions. <i>Journal of Nursing Scholarship</i> . 34(4): 331-7, 2002. 話題提供: 日本における開業助産師と産婦人科医が行う妊婦への保健指導の比較
11月9日	近藤由生子 大田えりか	Quality assurance practices in care management: A perspective from the United Kingdom. <i>Care Management Journals</i> . 4(3): 142-151, 2003 Fall. M1 修士論文研究計画
11月16日	田口敦子 山本文子	話題提供: 市町村合併が高齢者保健福祉サービスに及ぼす影響を探る 卒業論文中間報告
11月30日	松崎政代 成瀬 昂	M2 修士論文進捗報告 卒業論文中間報告
12月7日	村山洋史 長弘佳恵	M1 修士論文研究計画
12月14日	糠信憲明	<i>Clostridium difficile</i> -associated diarrhea in a region of Quebec from 1991 to 2003: a changing pattern of disease severity. <i>CMAJ</i> . 171(5): 466-472, 2004 Aug.

	渡井いづみ	M2 修士論文進捗状況報告
12月21日	小林小百合 岩瀬裕三子	M2 修士論文進捗状況報告
1月18日	岩瀬裕三子 小林小百合	M2 修士論文発表予行
1月25日	松崎政代 渡井いづみ	M2 修士論文発表予行
2月8日	成瀬 昂 山本文子	卒業論文発表予行
3月1日	長弘佳恵 福井郁子	M1 修士論文研究計画
3月8日	大田えりか 村山洋史	M1 修士論文研究計画

## (2) 母性看護学・助産学研究報告会

平成16年度、報告会において実施されたテーマおよび報告者は以下の通りである。

前期 2004. 4/27～ 7/20, 後期 9/21～ 2005. 2/22

月日	担当者	実施されたテーマ
4月27日	春名めぐみ 松崎政代	Butte NF et al: Composition of gestational weight gain impacts maternal fat retention and infant birth weight. <i>American Journal of Obstetrics &amp; Gynecology</i> . 189(5):1423-32, 2003 Nov. 修論進捗状況報告
5月11日	村山陵子	Catherine A. Carr: Use of a Maternity Support Binder for Relief of Pregnancy-Related Back Pain. <i>Journal of Obstetric, Gynecologic, &amp; Neonatal Nursing</i> . 32(4):495-502, 2003 Jul-Aug.
5月18日	渡辺悦子 松崎政代	Olson CM. Strawderman MS. Modifiable behavioral factors in a biopsychosocial model predict inadequate and excessive gestational weight gain. <i>Journal of the American Dietetic Association</i> . 103(1):48-54, 2003 Jan. 修論進捗状況報告
5月25日	本田由佳	研究報告: Measurement of fat mass and total body water composition during pregnancy using bioelectrical impedance analysis with compensation for the fetal component weight.
6月1日	松崎政代	Patrick Thelma, Roberts James: Current concepts in preeclampsia. <i>The American Journal of Maternal/Child Nursing</i> . 24(4): 193-201. 1999 Jul-Aug.
6月8日	大田えりか	Rogers I, Emmett P, Ness J, ALSPAC study team. Maternal fish intake in late pregnancy and the frequency of low birth weight and intrauterine growth retardation in a cohort of British infant. <i>Journal of Epidemiology and Community Health</i> 58: 486-492, 2004.
6月17日	春名めぐみ	Lee C, Jennifer R, Powers. Number of social roles, health, and well-being in three generations of Australian women. <i>International Journal of Behavioral Medicine</i> . 9(3), 195-215, 2002.
6月29日	村山陵子	Lee KA, Zaffke ME, Mcenany G. Parity and sleep patterns during and after pregnancy. <i>Obstetrics &amp; Gynecology</i> . 95(1), 14-18, 2000 Jan.
7月6日	渡辺悦子	研究計画: 妊娠・出産・育児期(出産後)を通じての母親の健康増進に関する研究(仮)
7月20日	大田えりか	修論研究計画: 妊娠中の栄養摂取・体脂肪・児の体重のコホート研究(仮)

9月21日	春名めぐみ	Ehrenberg, Hugh M. et al. Low maternal weight, failure to thrive in pregnancy, and adverse pregnancy outcomes. <i>Obstetrics &amp; Gynecology</i> , 189(6): 1726-1730, 2003.
10月5日	村山陵子 渡辺悦子	Parrott AC, Hindmarch I. The Leeds Sleep Evaluation Questionnaire in psychopharmacological investigations—a Review. <i>Psychopharmacology</i> 71: 173-179, 1980. Windows版SASによるデータ解析入門
10月12日	本田由佳	日本妊娠中毒症学会報告:「妊娠中毒症」から「妊娠高血圧症候群」への改定について
10月19日	松崎政代	ピペット講習受講報告, 日本国際医療保健学会報告
10月26日	春名めぐみ	妊娠中の体重変化と血中ケトン値との関連についての研究報告
11月2日	大田えりか	研究計画: 妊娠期の体重増加・体組成(体脂肪分布・体内水分量・除脂肪組織)増加が出生時の大きさに及ぼす影響について—生体インピーダンス法による体組成分析を用いて—
11月16日	村山陵子	睡眠時姿勢に関する研究の経過について
11月30日	渡辺悦子 本田由佳	日本メディカルライター協会公開講座参加報告 妊婦用体組成計について
2月22日	大田えりか	修論研究計画: 妊婦の体組成が児体重と胎盤重量に及ぼす影響について (仮)
3月4日	大田えりか	修論研究計画: 妊娠初期・中期・後期の体組成部位別分布と児の出生体重との関連

### (3) 研究会

#### ■ シフラの会

	月日	講師	演題
第1回	9月24日(金)	三砂ちづる先生 (津田塾大学 国際関係学科 教授)	変革の契機としての出産経験 —女性の身体性に向き合う—
第2回	2月18日(金)	矢島床子先生 (矢島助産院 院長)	開業助産婦の技 —女性の産む力, 育てる力を引き出すケア—

#### ■ 妊婦の栄養・ストレス研究報告会

	月日	担当者	実施されたテーマ
第4回	4月23日(金)	福岡秀興	成人病胎児期発症説を考える
第5回	12月3日(金)	福岡秀興 春名めぐみ 松崎政代 大田えりか 本田由佳	研究の全体概要 妊娠中の血中ケトン体 妊娠中の尿中バイオピリン 妊婦の栄養調査 妊婦の体脂肪率

#### (4) 研究プロジェクト

春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子, 福岡秀興, 関根恭一  
就労妊婦の労働負担による身体及び心理的ストレスに関する研究  
平成 16, 17 年度 科学研究費補助金 萌芽研究

春名めぐみ, 松崎政代, 村山陵子  
酸化ストレスマーカーを用いた就労妊婦のストレスの解明  
第 13 回 財団法人医療科学研究所研究助成

主任研究者 松崎政代  
安全な妊娠・出産のための妊婦の生活習慣評価に関する研究  
—評価指標としての酸化ストレスマーカーの有用性について—  
分担研究者 春名めぐみ, 村山陵子, 本田由佳, 村嶋幸代  
平成 16 年度 日本助産学会研究助成金 (委託研究助成)

主任研究者 佐藤郁夫  
「望まない妊娠, 人工妊娠中絶を予防するための効果的な避妊教育プログラム開発に関する研究」  
分担研究者 鈴木幸子  
研究協力者 湯澤直美, 伊藤悠子, 金子由美子, 渡邊好恵, 村山陵子, 今井充子, 大川聡子, 松山美紀  
「出産を可能にする環境整備に関する研究」  
平成 15, 16 年度 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)

春名めぐみ, 小安美恵子, 松崎政代, 福岡秀興  
妊婦・褥婦への栄養指導の実態調査

本田由佳, 春名めぐみ, 福岡秀興  
女子中学・高校生の骨量・体組成に関する調査

本田由佳, 春名めぐみ, 福岡秀興  
妊婦のエネルギー消費量・体組成に関する調査

#### (5) 研究交流促進

日本学術振興会 論博プログラム (平成 16 年度～20 年度)  
Pham Quynh Huong 氏 (ベトナム) 受け入れ協力

## 4. 教育活動

### (1) 学部講義

#### 1) 母性看護学 3年後期 I-1, 4年前期Ⅲ

担当： 春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子

近藤好枝 (非常勤講師：慶応義塾大学看護医療学部)

三宅はつえ (非常勤講師：もものみ助産院・出張開業助産師)

村上睦子 (非常勤講師：日本赤十字社医療センター)

上妻志郎 (東大病院女性診療科・産科医師)

藤井知行 (東大病院女性診療科・産科医師)

渡邊悦子 (東大病院女性診療科・産科助産師)

目的：人間のライフサイクルの中で生殖に関与する期間のうち、妊娠、分娩、産褥各期を中心に、その基礎と健康問題のアセスメント及び看護の計画、実施、評価法を学習する。

16年度の母性看護学は17年度から助産学教育課程がスタートするため、3年後期に1単位、4年前期に1単位で計2単位を履修する学年と、3年後期に2単位分履修する学年とが重複する年度となった。したがって、すでに母性看護学1単位を受講済みの4年生を対象に、母性看護学1単位を、また3年生を対象に2単位(計3単位分)を開講した。

なお、16年度進学生以降は3年後期に2単位取得し、4年前期で実習となる。

参考書：系統看護学講座 母性看護学〔1〕〔2〕医学書院

#### 講義スケジュール

##### 4年前期Ⅲ (1単位)

日程	講義題目	担当
9月30日(木) 13:00~16:10	自然出産と助産師の仕事	三宅
10月7日(木) 13:00~16:10	新生児(正常・ハイリスク)の看護	近藤
10月14日(木) 13:00~16:10	妊産褥婦、新生児の看護過程の事例展開	村山
12月6日(月) 9:00~16:10	妊産褥婦および新生児のケア技術(学内演習)	春名・村山・渡辺

##### 3年後期 I-1

日程	講義題目	担当
10月18日(月) 9:00~12:10	母性看護学概論, 妊娠期の看護	春名
10月21日(木) 16:20~17:50	産褥期の異常	藤井
10月25日(月) 9:00~12:10	分娩期の看護	渡邊
10月28日(木) 16:20~17:50	分娩期の経過(正常・異常)	上妻

11月1日(月)	9:00~12:10	新生児(正常・ハイリスク)の看護	近藤
11月4日(木)	16:20~17:50	産褥期の看護	渡辺
11月8日(月)	9:00~12:10	自然出産と助産師の仕事	三宅
11月11日(木)	16:20~17:50	妊産褥婦, 新生児の看護過程の事例展開	村山
11月18日(木)	16:20~17:50	施設内分娩における助産師の役割(1)	村上
11月25日(木)	16:20~17:50	周産期の基本的な看護技術	村山
12月2日(木)	16:20~17:50	施設内分娩における助産師の役割(2)	村上

## 2) 看護学の基礎と展開 (総合科学: 人間・環境一般)

対象: 駒場学生

### 講義スケジュール

日程	講義題目	担当
6月17日(木) 16:20~17:50	女性の健康を守る看護	村山
6月24日(木) 16:20~17:50	マタニティーサイクルにおける看護の役割	渡辺

## 3) 看護実践活動入門

対象: 駒場学生

期日: 平成16年8月5日

場所: 聖路加国際病院

内容: 「周産期ケアにおける対象のニーズの把握と看護サービスの実現」  
産科病棟・外来施設見学, ケア見学または実習 (春名・渡辺)

## 4) 健康科学・看護学概論

対象: 2年生(進学予定学生)

期日: 4学期 平成16年11月16日

内容: 「出産をめぐる今日のニーズと看護」(村山)

## (2) 学部実習

母性看護学実習 (2単位)

対象: 4年生7名

担当: 春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子

目的: 妊婦, 産婦, 褥婦および新生児とその家族を理解し, 対象に応じた看護を実践できる知識・技術を養う。

期間: 後期Ⅱ-2 平成16年12月7日~12月20日

実習施設: 東京大学医学部附属病院

入院棟A 3階南 女性診療科・産科病棟・NICU  
 女性診療科・産科外来  
 実習時間：8：00～15：00（外来8：30～）

### （3）大学院特論

#### 1) 特論Ⅰ

担当：春名めぐみ / 村嶋幸代  
 日暮 眞（東京家政大学・東京大学名誉教授）  
 高橋真理（非常勤講師：北里大学看護学部 教授）

目的：研究を推進するための基礎的能力を育成する。  
 母性看護学・助産学分野における現在の動向を把握し、時代のニーズ  
 （遺伝カウンセリング、ハイリスク児における援助など）に対応できる基礎的  
 能力を育成する。

主な参考書：

- ・Lesley Ann Page, Patricia Percival: The New Midwifery: Science and sensitivity in practice. 2000.
- ・Sue Proctor, Mary Renfrew: Linking Research and Practice in Midwifery.2000
- ・前原澄子監訳：助産学研究入門 エビデンスにもとづく実践をめざして

#### 講義スケジュール

日程	講義題目	担当
5月13日（木） 13:00～16:10	オリエンテーション, 打ち合わせ	春名
5月20日（木） 13:00～16:10	遺伝相談	日暮
5月27日（木） 13:00～16:10	テキスト輪読	春名
6月3日（木） 13:00～16:10	テキスト輪読	春名
6月10日（木） 13:00～16:10	Women's Health & Research 1	高橋
6月17日（木） 13:00～16:10	Women's Health & Research 2	高橋
7月1日（木） 13:00～16:10	テキスト輪読	春名
7月8日（木） 13:00～16:10	テキスト輪読	春名

#### 2) 特論Ⅱ

担当：春名めぐみ / 村嶋幸代  
 堀内 成子（聖路加看護大学）  
 島田三恵子（浜松医科大学）

目的：研究を推進するための基礎的能力を育成する。  
 母性看護学・助産学分野における現在の動向を把握し、時代のニーズに対応できる基礎

的能力を育成する。

主な参考書：

- ・ JS Garrow, WPT James, A Ralph. Human Nutrition and Dietetics 10th edition.

#### 講義スケジュール

日程	講義題目	担当者
9月24日(金) 13:00~16:10	オリエンテーション, 打ち合わせ	春名
10月1日(金) 13:00~16:10	テキスト輪読	春名
10月8日(金) 13:00~16:10	テキスト輪読	春名
10月15日(金) 13:00~16:10	研究テーマ選定と研究方法論 I	島田
10月20日(金) 13:25~15:35	EBM の手法を用いた研究の活用	堀内
10月22日(金) 13:00~16:10	テキスト輪読	春名
10月28日(木) 13:00~16:10	研究テーマ選定と研究方法論 II	島田
11月10日(水) 13:25~15:35	EBM の手法を用いた研究の活用	堀内
11月17日(水) 13:25~15:35	EBM の手法を用いた研究の活用	堀内
11月24日(水) 13:25~15:35	EBM の手法を用いた研究の活用	堀内

#### (4) 修士論文

「妊娠中の酸化ストレスマーカーとしての尿中バイオピリン」松崎政代

(指導教員：村嶋幸代／春名めぐみ)

### 5. 学内外での活動

#### (1) 学内の活動・役割

春名めぐみ (平成14年6月～)

助産学教育課程開講準備担当

平成13年～

化学物質管理担当者

平成15年4月～

村山陵子 (平成15年10月～)

助産学教育課程開講準備担当

平成15年10月～

教育委員

平成16年4月～

渡辺悦子 (平成16年4月～)

倫理指導委員

平成16年4月～

## (2) 学外での活動

春名めぐみ (平成14年6月～)	
日本看護科学学会 第7期看護学学術用語検討委員会 ワーキンググループメンバー	平成15年4月～
日本母性衛生学会総務部幹事	平成15年12月～
村山陵子 (平成15年10月～)	
第24回日本看護科学学会学術集会実行委員	平成16年12月
松崎政代	
(社)日本助産師会 組織強化委員会	平成14年8月～
JICA 研究員受入れ事業 「自然出産を伝える」について講演	平成16年6月

## 6. 教室日誌

2004年	4月1日	渡辺悦子助手 就任
	4月9日	3号館S100 整備 (実習室)
	5月13日～7月8日	母性看護学・助産学特論Ⅰ 講義
	6月17日, 24日	看護学の基礎と展開 (総合科学: 人間・環境一般) 講義
	6月24日～25日	全国国立大学法人助産師教育専任教員会議
	7月1日	フリースタイル分娩研修 (日本助産師会東京都支部)
	8月5日	看護実践活動入門 見学実習 (聖路加国際病院)
	9月24日～11月24日	母性看護学・助産学特論Ⅱ 講義
	9月28日	助産学教育関連図書整備 (医学図書館)
	9月30日～10月14日	母性看護学 (4年) 講義
	10月15日, 22日	福岡助産院研修
	10月18日～12月2日	母性看護学 (3年) 講義
	11月5日～11日	東大病院研修
	11月16日	健康科学・看護学概論 講義
	12月2日	助産学教育課程説明会
	12月6日	母性看護学 (4年) 学内演習
	12月7日～12月20日	母性看護学 (4年) 実習
2005年	1月27日, 28日	修士論文発表会
	1月31日～2月10日	助産学教育課程出願受付
	2月16日	助産学教育課程選考面接 (3名)

## 7. 教室員名簿

<2004年度>

職名	氏名	勤務先 名称・住所
教授 (兼担) 2003. 5. 21～	村嶋 幸代	東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 地域看護学分野 〒113-0033 文京区本郷7-3-1
講師 2002. 6. 16～	春名 めぐみ	東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野 〒113-0033 文京区本郷7-3-1
講師 2003. 10. 1～	村山 陵子	同 上
助手 2004. 4. 1～	渡辺 悦子	同 上
非常勤講師 (大学院) 2002. 10～	高橋 真理	北里大学 看護学部 〒228-0829 神奈川県相模原市北里2-1-1
非常勤講師 (学部) 2002. 10～	三宅 はつえ	もものみ助産院 (出張開業) 〒306-0023 茨城県古河市本町4-7-1-2-503
非常勤講師 (大学院) 2003. 4～	堀内 成子	聖路加看護大学 〒104-0044 東京都中央区明石町10-4
非常勤講師 (大学院) 2003. 4～	島田 三恵子	浜松医科大学 医学部 〒431-3125 静岡県浜松市半田山1-20-1
非常勤講師 (学部) 2003. 4～	近藤 好枝	慶應義塾大学 看護医療学部 〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤4411
非常勤講師 (学部) 2004. 4～	村上 睦子	日本赤十字社医療センター 看護部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-22
非常勤講師 (学部) 2004. 4～	上妻 志郎	東京大学医学部産科婦人科学教室 〒113-0033 文京区本郷7-3-1
非常勤講師 (学部) 2004. 4～	藤井 知行	同 上
非常勤講師 (学部) 2004. 4～	渡邊 悦子	東京大学医学部附属病院
大学院生 (修士2年) 2003. 4～	松崎 政代	東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野 〒113-0033 文京区本郷7-3-1
大学院生 (修士1年) 2004. 4～	大田 えりか	同 上
研究生 2004. 4～	本田 由佳	(株)タニタ 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
事務補佐員 2003. 4～	峯 圭子	東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野 〒113-0033 文京区本郷7-3-1

---

母性看護学・助産学分野年報	第3号
発行年月日:	2005年3月31日
発行責任者:	〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野 春名めぐみ・村山陵子 / 村嶋幸代 Tel & Fax. 03-5841-3396

---